千葉市消防局救急隊により千葉大学医学部附属病院に救急搬送された患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年７月１日

千葉市消防局／千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部と千葉市消防局救急課の両機関では、「救急搬送データと電子カルテ情報の連結による救急搬送傷病者のその後の経過フォローおよび救急医療統合データベース構築に関する調査」を実施しており、以下に示す方の救急搬送データおよび診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。本文書は両機関がそれぞれ情報公開を行うものであり、内容は両機関で同一です。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方：２０２０年１月から２０２６年６月３０日までに千葉市消防局救急隊により千葉大学医学部附属病院に救急搬送された方（年齢を問わない）

１．研究課題名

「救急搬送データと電子カルテ情報の連結による救急搬送傷病者の転帰評価および救急医療統合データベース構築に関する観察研究」

２．研究期間

２０２６年承認日～２０３１年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

救急車で病院に搬送される傷病者については、救急隊が現場で観察した情報や行った処置の内容と、病院に到着した後の検査結果や最終的な診断、入院後の経過などの情報が、それぞ

れ別々に記録・保管されています。これらを患者単位で結びつけて解析できれば、救急医療の現場で行われる判断（緊急度の判断、搬送先の決定、口頭指導など）の質を客観的に評価できるようになります。

本研究では、千葉市消防局救急課が保有する救急搬送データと、千葉大学医学部附属病院の診療記録に記載された診療情報（いずれも詳細は4に記載）を、患者単位で連結します。

消防局が保有する情報（詳細は4に記載）のうち、お名前・生年月日等の個人を識別できる情報を「ハッシュ化」（元の情報を復元できない形式への変換）し、千葉大学へ提供します。

千葉大学では、診療記録に記載された情報（詳細は4に記載）のうちお名前・生年月日等を、消防局と同じ方法でハッシュ化し、ハッシュ化された値どうしが一致するかどうかによって、同じ方の救急搬送データと診療情報を結びつけます。

千葉大学における連結・解析作業は、当院内のインターネットに接続していないパソコンで、限定された研究者のみが実施します。

今回の研究から得られる成果によって、消防庁・各医療機関がそれぞれ単独で保有するデータの単独利用では把握不能な、救急医療プロセス全体にわたる評価が可能となります。ハッシュ化（元の情報を復元できない形式への変換）等の技術を用いた個人同定情報の安全な取り扱い手法を整理することで、今後の医療機関−行政機関間データ連結における倫理的・技術的標準を提示できることを目的とします。

４．研究に用いる情報の種類

本研究では、お身体から新たに採取する試料（血液、組織等）は使用しません。以下の情報のみを用います。

【千葉市消防局救急課から提供される情報】

消防庁オンライン報告様式に基づく救急搬送関連情報（事故種別、発生年月日、発生場所、覚知方法、観察所見、現場処置内容、傷病者基本情報（年齢、性別、居住地区分、家族構成、既往歴、服用薬剤）、搬送先選定経過、救急隊判断（緊急度・重症度）、ウツタイ

ン情報など）。

※消防局が保有するデータには、お名前・生年月日・お住まい等の個人情報が含まれます。千葉大学へは、これらをハッシュ化した状態（元の情報を復元できない形式）でのみ提供されるため、千葉大学はそのままのお名前・生年月日等（暗号化していない情報）を扱いません。

【千葉大学医学部附属病院の診療記録から抽出する情報】

診療録、集中治療室部門システム、診療報酬データベースから、当院に救急搬送された患者さんの以下の情報を抽出します：年齢、性別、入院年月日、来院時バイタルサイン、初期診療内容、検査結果、画像検査所見、確定診断名、入院科、在院日数、集中治療室在室日数、人工呼吸管理日数、手術歴、合併症、生存退院・院内死亡、退院時転帰。

５．研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学　教授　中田 孝明

研究機関名	研究責任者
千葉大学医学部附属病院	中田 孝明（救急集中治療医学　教授）
既存試料・情報の提供のみを行う者	責任者
千葉市消防局救急課	千葉市消防局救急課長　藤村 実儀

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事

ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページ（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）をご参照ください。

７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。お申し出は千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部の相談窓口、または千葉市消防局救急課のいずれでも受け付けます。なお、お申し出があった時点で既に研究結果が論文などで公表されていた場合は、対応できないことがあります。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口（千葉大学医学部附属病院）
住所：〒２６０－８６７７
千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１
千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）
救急科・集中治療部　教授　中田 孝明
電話：043（222）7171（内線：救急科・集中治療部）

相談窓口（千葉市消防局）
住所：千葉市中央区長洲1丁目2番1号 セーフティーちば6階
千葉市消防局救急課　課長　藤村 実儀
電話：043（202）1657